

たあとるほいくえん

【令和3年度 自己評価への取り組みと状況報告】

今年度1年を振り返り、あなた自身の評価を行ってください。

1→5(悪い→良い)の5段階評価。また、あなた自身が下記項目以外で、「良いと思うところ」「これから改善しようと思うところ」も記載してください。(期限:3月30日)

保育の計画性

たあとるほいくえんの保育理念・方針を理解し、達成できるように計画を立てている。	3.2
子ども一人ひとりの発達過程や興味を把握し、計画を立てている。(月案・個人計画)	3.4
保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っている。	3.7
評価結果をもとに保育の改善に努めている。	3.5
楽しい雰囲気の中で、安定してあそべる環境構成を考えている。	3.6
配慮の必要な子どもには、その子に応じた計画を立てている。	3.3
良いところ	<p>保育士間でも常に話し合い計画を立て日々改善へと努めようという姿勢があった。個々のペースにも合わせようとしている。</p> <p>子どもの興味に応じた計画をたて実行しようとしている。</p> <p>ひとりひとりの子どもの発達に合わせてこまやかに育ちの支援をしているように感じています。同じように接したいと思います。</p> <p>子どもの自立性を重視し、「自分でできる喜び」を育めるよう関わっていく。</p> <p>今年度は子ども達とゆったり関わらせて頂けたので月案や計画をしっかり記入し保育に活かすことができた。</p> <p>子どもたちの好きなことをメインに楽しく保育を行うことができた。</p> <p>週案と日誌が一緒になっているため負担にならなくていい。</p> <p>一日の流れを確認してから勤務をスタートするようにしている。</p> <p>アットホームな雰囲気</p> <p>個人案を共有することでその子に応じた援助を行いやすくなった。</p>
改善点(策)	<p>配慮の必要な子どもにはもう少し勉強を重ねより良い保育ができる様に努めていきたい</p> <p>年間、月ごとに見通しをもっていく。</p> <p>配慮の必要な子どもへの援助のスキルアップをしたい。設定保育をさらに充実させていきたい。</p> <p>補助の保育士にも個別の支援の違いがもっと伝わるとありがたいです。</p> <p>その子のペースがそれぞれ違うので集団生活に対する意識づけを個々に応じて行っていく。</p> <p>目の前の子どものことはよく見れたと思うが発達に応じて一歩先の見通しを視野に入れての保育は欠けてしまっていた。</p> <p>一つ一つの目標を少しずつでもしっかりと計画を立てていく。</p> <p>子どもとの関わりの中で気付いた事を他の保育士と共有し計画に反映させる。</p> <p>月案、個人案は期日があるため今後は守るよう努めたい。</p> <p>保育の改善に努めているが計画を立てるには至っていないので計画を立てるようになる。</p>

年齢に即した計画案、個々の発達過程をしっかりと見ていく。
ミーティング回数が減ってしまった。

子どもとの触れ合い・対応

一人ひとりの人権を大切に関わっている。	4.4
一人ひとりの思いを受け止め、思いをできるだけ実現してあげようとしている。	4
一人ひとりの目標と課題を明確にし、見通しを持って関わっている。	3.5
一人ひとりの子どもの話を同じ目線で聞き、丁寧に関わっている。	4.1
子どもの手本となる言葉使いや挨拶が出来ている。	3.5
子どもの名前は呼びすてにしている。	4.3
すべての子どもと公平に関わっている。	4.1
オムツ交換・お着替え時は、優しく声掛けし、スキンシップをとっている。	4.3
必要以上に「禁止・命令・行動を急かす・自信を失わせる言葉や態度をしていないか。	3.6
子どもに対する適切な言葉遣いができている。	3.5

良いところ

常に同じ目線で公平に関わるよう努めることができていた。
一人ひとりの人権は尊重しようと心掛けている。
子どもとの信頼関係を築けるように言葉がけやスキンシップを積極的に行えた。

感情的にならず子どもたちに接しておられるように感じます。
個々の良いところを言葉に出して伝え、安心感を持ってもらえるよう関わっている。

ゆったりと関わる中で自分自身の保育、態度、姿勢を見直し振り返ることができた。
できることが増えたときにはめいっぱい共感し意欲につなげることができた。

子どもにまず自分の事を知ってもらえるように意識した。
一人ひとりの子どもに手厚い保育ができる環境であるのがいい。
声かけを積極的に行い子どもの伝えたい気持ちを受け止めるように心掛けている。

子どもと共に活動に取り組み、楽しい、嬉しい、悲しいなど共に感じ学び成長を喜ぶことができた。

改善点(策)

やはり方言(大阪弁)が多く楽しく会話する中で言葉遣いが難しかった。
落ち着いて過ごせるよう気持ちに余裕をもって関わる。
一人一人の個性を伸ばしていけるような言葉がけを心がけていきたい。
言葉使いがなれなれしくなってしまう時があるので注意していきたい。
自分の発する言葉がけには今後も考えて声掛けしながら楽しい保育となるよう務めていきたい。

個々の特性に合った触れ合いをしていく。
毎日まんべんなく子どもに声をかけたり関わりを持ったりできるように意識する。
一人ひとりの子どもに分け隔てない対応をしていきたい。
一度に複数人の子どもと関わる時にうまく伝わらないので顔を見て話すようにする。

マスクをしながらの保育になるので食事時の口の動かし方、言葉を発するための口の動きを見せることができない。お家でしっかり伝えてもらったり(見せてもらったり)違った方法で伝えられる手段を取り入れたい。

一人ひとりを尊重し、丁寧に関わりお援助していく。

保護者への対応

園の保育内容や子どもの姿がわかるような発信をしている。	3.2
子育てパートナーとして、保護者の子育ての大変さや悩みを理解している。	4.2
送迎時に子どもの姿(ケガ含む)を必ず伝えている。	3.7
丁寧な言葉遣いと気持ちの良い対応を心がけている。	3.8
親しくなったからといって、ため口や友達同士のよう話し方、上から目線で会話をしていないか。	4.2
すべての保護者と公平に関わっている。	4.1
保護者の子育てを支え、子育ての喜びを共感している。	4

良いところ	<p>保護者のおもいをしっかり受け止めながら子どもの成長を共感しあえた。 連絡ノートのやりとりを通して子どもの成長を共有できている。 保護者の方々とのうまくコミュニケーションを取られていたと思う。 子どもの様子を見ながら成長を感じたことなど保護者に伝えるようにした。 登園時は笑顔を心がけ、安心感を持ってもらえるよう関わっている。 日々の保育を通して子どもたちの成長を共に喜び合うことができた。 言葉遣いは丁寧に心掛けた。 保護者と親しく話せることができる。 退勤時にお迎えと重なった場合は気づいたことを伝えている。 ノートを使い一日の出来事や連絡事項を明確にしている。 登園降園時、一人ひとりと話す機会を大切にしていきたい。</p>
-------	---

改善点(策)	<p>コロナ感染症対策で対面して会話でのやり取りが十分にできなかった。 送迎時のコミュニケーションを増やしていく。 あまり保護者と接する機会はないですが同じように接することができるようにその日の様子をよく聞くようにします。 保護者の抱えている子育ての悩みや不安に気づき寄り添えるようにする。 登園が遅い保護者に関してどのように関わっていけばよいかを様々な分野を通してサポートしていきたい。 話しが長くなってしまいなかなか切りあげることができなかったので伝えることを整理するようにする。 細かな変化であっても伝えていき情報を共有していく。 登園時や保護者の参加する行事の際には積極的にコミュニケーションを図る。 保護者につたえることがある時は遅番の保育士にしっかり引き継ぐ。 保護者の方たちとコミュニケーションをとり、共に成長を喜び確認しあえる関係づくりをする。 保護者の方が分かりやすいエピソードも伝えるようにする。 門を出た後道路では手をつなぐ(飛び出さない)ヘルメット着用、チャイルドシートなど声をかけて安全対策を広める。</p>
--------	---

自然や社会との関わり(散歩・戸外あそび)

適度に園庭やお散歩に出掛けている。	4.1
生き物や植物を大切にしている。	3.8

近隣地域の人、来園者に明るく挨拶ができています。	4.1
良いところ	<p>天気の良い日は少しの時間でも園庭やお散歩に出て季節感も楽しむ事ができた。散歩の際に木々等に触れる機会をつくっている。</p> <p>午後出勤なのであまり散歩に参加することがないですがお話を聞いて行ったことがわかります。</p> <p>積極的に戸外遊びを取り入れる事ができた。</p> <p>園内には植物や生き物に触れる機会があり、様々な感性を育てる工夫がある。戸外にはたくさん行く機会をつくったことでのびのび過ごす事ができた。</p> <p>安全確認等子どもたちと一緒に行うようにした。</p> <p>季節を感じる事ができるような声掛けを意識した。</p> <p>散歩や園庭での戸外遊びに多く出かけられる。</p> <p>午前の戸外遊びはどうだったか子どもに聞くようにしている。</p> <p>お散歩中や外遊び中で近隣の方や来園者に挨拶ができています。</p> <p>異年齢児と手をつないで歩き、お互い良い刺激になっていると思う。</p>
改善点(策)	<p>生き物と関われる機会をもっとつくってあげたい。</p> <p>飼育しているカタツムリの世話を定期的に行う。</p> <p>子どもたちが周りの自然や地域の人に興味関心を持てるような言葉がけをしていく。</p> <p>生き物や植物には触れる機会はほぼなかったので来年度は触れられる機会を取り入れていく。</p> <p>戸外遊びを通してもっと楽しさを伝えていく。</p> <p>子どもの興味や疑問に答えられるよう身近な生き物や植物の意識を身に付ける。</p> <p>散歩や戸外に出かける機会を多く持つようにしたい。</p> <p>これから戸外遊びに参加する際には、積極的に関わる。</p> <p>動植物のお世話をもっと保育に取り入れて、子どもたちができる事を増やしていきたい。</p> <p>天気の良い日は戸外に出て健康な体づくりをしていけるようにする。</p>
保育士としての能力(良識・適正)及び態度(姿勢)	
園内・園外研修に積極的に参加している。	2.8
自らの保育を振り返り、第三者の意見を聞きにしている。	2.8
自らの保育を振り返り、第三者の意見を取り入れている。	3.3
自身の保育を振り返り評価反省を行い、次の保育に生かしている。	3.7
まだ、自分にできることはないか、協力できることはないか自ら声をかけている。	3.5
自己の体調を管理し、他職員に迷惑をかけないように努めた。	3.7
子どもの事、クラスの出来事、保護者からの苦情(相談)等、必要なことは、施設長(管理者)や主任に「報告・連絡・相談」している。	3.7
園の消耗品や教材は節約して使っている。	4.2
職員や園の批判を軽はずみにしたり、プライバシーについて他へ漏らしていないか。	4.5
他の保育士の意見を尊重できている。	4.1
提出物を期限内に提出できている。	4.2
	<p>自分ひとりで決めて進めず相談がしっかりできていた。</p> <p>できることは進んでするようにしている。</p>

<p>良いところ</p>	<p>園外研修に積極的に参加できた。 保育士の関わりを通して、自信の保育を見直し、評価、改善している。 ”ほうれんそう”は心掛けるようにした。提出物も無理なく取り組むことができ、ほぼ持ち帰ることもなかった。 物は大切に使うよう心掛けた。 手洗い、うがいや手指消毒を意識的に行えた。 苦手な分野(製作、ピアノなど)を他の職員の方も援助してくれる。 他の保育士の保育方法を見て学び分からない事は聞くようにしている。 子どもについてや教材などの連絡事項はノートや会議で共有している。 午睡時間を利用し職員間で話し合える機会が増えたと思う。</p>
<p>改善点(策)</p>	<p>みんなで良い保育へと向上できるようにしていきたい。 他の保育者と連携を深めていく。 自分の保育に関しての評価をしてもらえないのでできるだけいけんしてもらいたいようにしていきたい。 ひとりよがりの保育になっていないか、担任間や他クラスの職員の意見を聞き、毎日の保育に繋げていきたい。 研修に参加できていないので、今後は積極的に参加していきたい。 クラスのことで精一杯になってしまい園全体のことはほぼ手伝うことができなかった。 クラスの様子をもっと共有していく。 他の保育士の意見を積極的に取り入れ保育に反映させる。 提出物や持ち帰り製作を期限内に作ったり提出できるようにする。他の職員の方に迷惑をかけないようにする。 今後も積極的にコミュニケーションをとり保育に努める。 自分の保育を振り返り、評価、反省を行い日々の保育にのぞむ。 研修で得た知識を保育に取り込み自分の技に変えていきたい。</p>
<p>安全面及び衛生面</p>	
<p>給食及び間食を提供の際は、アレルギー食の配慮や工夫がされている。</p>	<p>3.7</p>
<p>施設設備や園庭、お散歩道中の危険箇所を把握し、安全点検を行っている。</p>	<p>3.7</p>
<p>常に危険を予知して保育に取り組んでいる。</p>	<p>3.8</p>
<p>危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制ができている。</p>	<p>3.6</p>
<p>保育室の換気、温度・湿度に配慮して保育している。</p>	<p>3.5</p>
<p>子どもの健康状態やケガを記録し、職員間で把握できている。</p>	<p>3.5</p>
<p>良いところ</p>	<p>危機管理を保育士間で常に話し合うことができた。 安全面に気を配って過ごしている。 午後にも避難訓練があり午後の保育士も参加できた。 発達段階や環境に応じて起こりうるケガや事故を念頭におき配慮することに務めた。 飲食後のアルコール消毒を徹底している。 常に事故が起きないように楽しく安全な保育を大切にしたい。 消毒、換気には特に気を付けた。</p>

	<p>死角のない立ち位置を心掛けた 避難訓練も毎月実施している。給食もアレルギーの子どもをしっかりとした対応で 区別されている。 衛生的に気を付け清掃を行っている。 新型コロナウイルス対策がしっかりできている。 登園簿に欠席理由や引継ぎ事項を記載することで子どもの体調などが把握しやす くなった。</p>
<p>改善点(策)</p>	<p>外気温を考え換気しながら室内の環境を整えるのが難しかった。 子どもや環境への理解を深めて危機管理意識を高める。 通報の仕方や避難の手順がわかるレジメがあるとありがたいです。 緊急委の対策や対応をあらゆる角度から見て保育士間で話し合いよりよい対策を 常に考えていきたい。 常時換気の為、窓を開放しているため、冬は寒くなりすぎる傾向があるので暖房を つよめるなど温度調整を行うようにする。 室内の換気はできているが冷暖房(特に冷房)の使用は必ず必要だと思った。 危険がないようにするだけでなく万が一起きた時の対処をしっかりとしておく。 子どもの健康状態やケガ等を共有できるよう他の保育士と積極的に情報を交換す る。 危険を感じた時は慌てず対応し子どもを守っていきたい。 子ども一人ひとりの特性に合わせて危険を予知できるように心掛ける。 危機管理や安全、衛生に関する対応、対処の仕方を確認する。(共通理解) 食後は床は拭かなくていいのかなと思いました。 口拭きガーゼが赤カビ黒カビ発生している時がある。口に使うものなので言いづら いけれど早く伝えて交換してもらおう方が良いと思う。</p>